

月山 1984m（～神仏習合・羽黒山神社）たおやかな山旅

齊藤 整紀

●2018年8月19日（日）～20日（月）

●メンバー 齊藤整（CL）、さち子（妻）

●コースタイム

19日：JR秋田駅 10:35（特急いなほ）⇒12:19
鶴岡駅（タクシー）12:25⇒月山八合目バス停 13:15
～30⇒16:45 九合目・仏生池小屋（泊）

20日：小屋 6:15⇒山頂（神社）8:45～9:00→
九合目小屋 10:40～50⇒12:45 月山八合目バス
停（バス）13:10⇒羽黒山山頂・出羽三山神社
14:10～20（バス）⇒羽黒山五重塔 14:35～16:05
（バス）⇒16:50JR鶴岡駅（電車）17:56⇒あつ
み温泉駅 18:19（送迎車）⇒18:30 萬國屋（泊）

8月19日（日） 快晴

18日に秋田の実家に帰省し、19日、月山に向かった。羽黒山観光も兼ねる予定で、車ではなく、のんびりと電車利用と決めたものの、田舎のこと、電車、バスの本数が少なく、時間線りが難しい。

まず月山登山の起点・鶴岡駅 12時19分着。八合目バス停までバス利用の場合、到着が15時過ぎになり、山頂へ向かうのは厳しい。そこでタクシーを予約、12,000円、50分で着くという。

折しも高校野球甲子園大会の最中、途中、改装中の大鳥居前には初戦敗退の羽黒高校の豪華な校舎に甲子園出場を祝う横断幕が空しく風に揺れている。（わが秋田の金農の快進撃を受け、ちょっと上から目線！）

月山は写真の難しい山である。秋田からの特急の車窓からでも鳥海山は良いものが撮れるのに対し、月山は鶴岡に降りてからも写真にならない。高さがなく平坦な山容で、大きく広がっているため、遠景は、陳腐である。

予定通り、タクシーは、13時15分に月山八合目バス停に到着した。途中の道路は狭い所が多かったが、バス停はかなり大きい。しかし、盛況で、マイカーは、駐車場手前にかかなりの数が路駐

を余儀なくされている。

13時半に八合目から歩き始める。木道や平坦な径が続く。30分程過ぎて、凸凹石の道になってから妻が足の不調を訴えた。ダブルストックの使い方を教えたり、私が荷物を引き受けたりしてサポートしたが、山径は緩やかながら距離があるため時間がかかる。



鳥海山の雄姿を背に、大草原の山旅を楽しむ。しかし、午後の日差しが夕刻を告げる中、山頂はおろか、中間点の九合目も見えず、少し焦り気味。目の前に秋アカネが舞い、気持ちを落ち着けると季節の移ろいを感じ、風雅な心が蘇る。

ようやく九合目小屋に着いたのが、山頂着予定の16時半を回っている。しかも、妻からは「限界宣告」を受けており、やむなく、予定を変更した。頂上小屋をキャンセルし、この九合目・仏生池小屋に泊めてもらうことにした。食事は夕食メニューが間に合わないため、食堂メニューから選んだ。宿泊者30人程度、トイレはバイオ処理、清潔で好感が持てる。夕食後、18時半頃、鳥海山を中心に夕日撮影を楽しんだ。

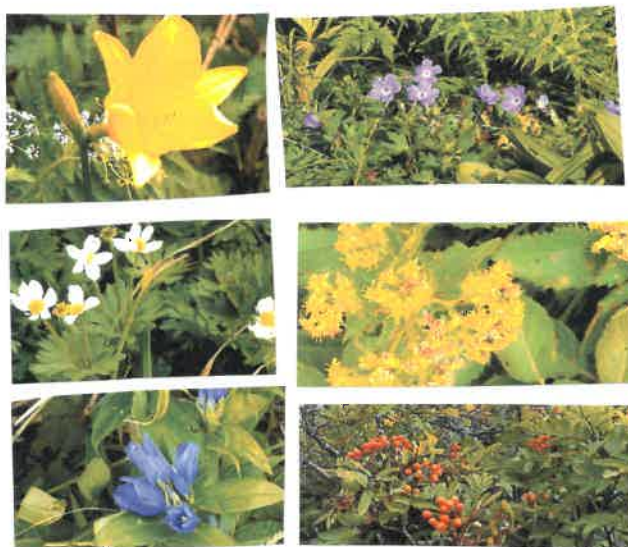


8月20日(月) 晴れ

昨日よりは雲が多いものの、天気は大丈夫。まず鳥海山の朝焼けを楽しんだ。厚い雲海から山頂部を出しただけながら、秋田側からとは違う鳥海山も良いものだ。しばし堪能。



朝食は皆と同じものを戴き、不要な荷物は妻のザックに入れて小屋にデポ。今日は妻の痛い左足をサポート、左手を引いて登る。緩やかな径が多い中、歩き辛い岩・石の登り径も混在する。花の盛りは過ぎているが、池塘を頂く高原風景は気持ち安らぐ。ニッコウキスゲ、ハクサンフウ、ハクサイガ、ミヤマリドリなど花の種類は多い。



神社手前に山頂らしい囲みがある。三角点らしい標識はあるものの、「百名山」の標識はない。



隣で「山頂神社」と称して 500 円を徴求してお祓いをする神社は、ここと同じ位の高さまで石を積み上げて山頂と称している。忖度ありか!? それでも頂上小屋方面から撮る神社は、JR の宣伝写真にも載るだけに、盛り上げられた石段の具合がなかなかのアングルで美しい!



下山は妻も好調で、路線バスの 13 時 10 分には楽々間に合った。私は、甲子園で大活躍の地元秋田・金足農高の結果が気に入り、歩きスマホをしながら歩いたが、バス停に着く前に 2 対 1 で日大三高に勝ったため、他の登山客にもふれ回った。

路線バスは途中、羽黒山山頂で乗り継ぎタイムがあるため、その時間を利用して、出羽三山神社にお参りした。なかなかスケールの大きな神社で、参詣者や観光客は多い。



更にバスで下って国宝・羽黒山神社五重塔を拝観した。目立つ赤門をくぐると、石段が川へとくだる。右手には川越しに、水垢離の滝が涼やかである。五重塔は、折しも内部御開帳中で天井を下から覗き、上に上がって柱を蔓で縛った建築用式が拝める幸運を得た。

夜はあつみ温泉「萬國屋」に泊り、労い寛いだ。